

経済・金融概況

[ブラジル]

1. 景気概況

4-6月期の実質GDP成長率は前年比▲11.4%と、前期（同▲0.3%）から大幅に悪化し1996年の現行統計開始以来の落ち込みとなった（第1図）。需要項目別に寄与度をみると、輸入の大幅な減少を受け純輸出が同+2.1%ポイント（輸出は同+0.5%、輸入は同▲14.9%）のプラス寄与になったことを除けば、個人消費の同▲9.0%ポイントをはじめ総固定資本形成、政府消費、在庫投資・誤差が軒並みマイナス寄与となった。僅かにプラス成長した輸出を仕向地別にみると、米国向けが同▲41.2%、アルゼンチン向けが同▲45.7%と悪化するなか、最大の輸出相手国である中国向けは同+18.6%と拡大した。

新型コロナウイルスの感染拡大状況は、10月7日現在、累計感染者数496.9万人（世界3位）、累計死者数14.7万人（世界2位）といずれも高水準となっている。但し、8月中旬に日次の新規感染者数が一旦ピークを過ぎたことに加え、足元では感染者の9割弱が治癒しているとされており、既に感染拡大の最悪期は脱したものと考えられる。

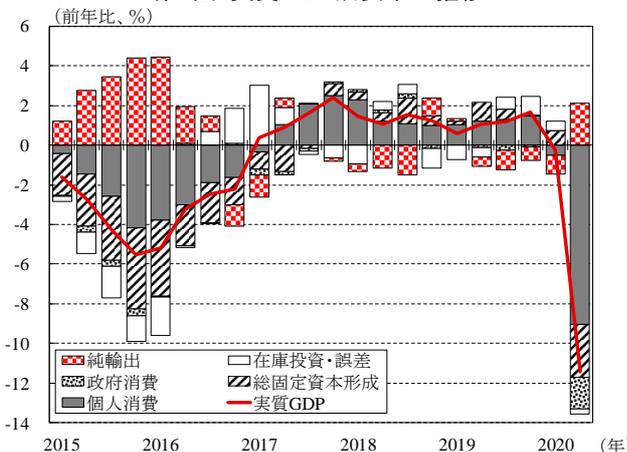
経済活動については、雇用に改善の兆しは見られないものの、家計所得は低所得者層向けの現金給付等の政策効果も背景に改善しており、6月以降の小売売上高が前年比プラスの水準まで急回復していることなどを踏まえると、景気は一旦底を打ったものと考えられる。もともと給付策は、9月から支給額が半減し年末には支給期限を迎える予定であり、政策効果消失後の景気の方角には注意が必要であろう。

2. 物価・雇用

物価：8月の消費者物価上昇率は原油価格下落等の影響を受け前年比+2.4%と、中央銀行の目標値（同+2.5~5.5%）を下回る推移が継続している（第2図）。

雇用：7月の失業率は13.8%と、コロナ禍前の年初から悪化が続いており、2012年の現行統計開始以来の高水準となっている。

第1図：実質GDP成長率の推移



(資料)ブラジル地理統計院統計より国際通貨研究所作成

第2図：消費者物価上昇率と失業率の推移

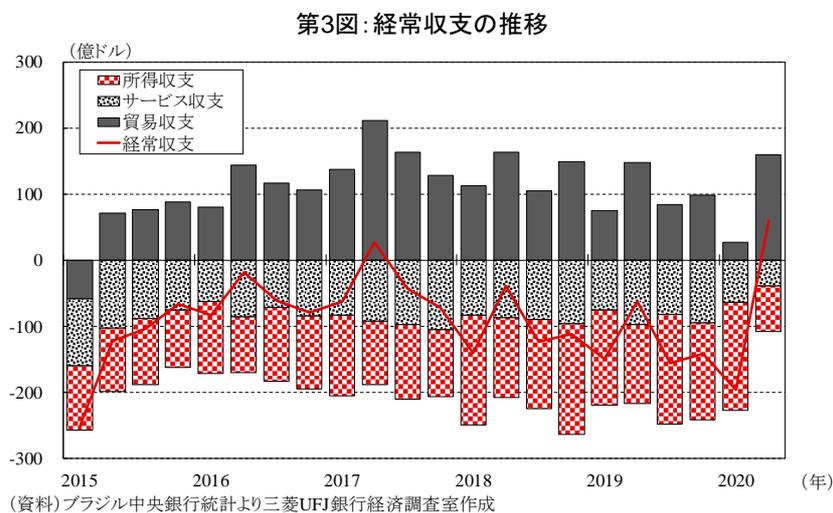


(注)『失業率』は末季節調整値。

(資料)ブラジル地理統計院統計より国際通貨研究所作成

3. 経常収支

4-6月期の経常収支は+60億ドルと約3年ぶりに黒字となった。大豆・牛肉等の一次産品の輸出拡大により貿易黒字が前期比+134億ドルと拡大したことなどが要因である（第3図）。



4. 金融市場

為替：ブラジルレアルの対ドル相場は、国内の新型コロナウイルス感染拡大への対応方針をめぐる混乱から、5月中旬に5.8レアル台までレアル安が進行した。その後も安値圏での推移が継続し、足元では5.5レアル近辺にて推移している（第4図）。

政策金利：ブラジル中央銀行は、今年に入り累計5回250bpの利下げを実施したことから、足元の政策金利は史上最低の2.00%となっている。

株価：ボベスパ指数は、3月中旬に大幅に下落したものの、その後は持ち直しの動きが優勢となり、足元では概ね100,000ポイント近辺にて推移している（第5図）。



ブラジル経済・金融概況

1. 年次

	2016年	2017年	2018年	2019年
実質GDP成長率	▲3.3%	1.3%	1.3%	1.1%
鉱工業生産指数(前年比)	▲6.4%	2.5%	1.0%	▲1.1%
設備稼働率(年平均)	77.0%	77.3%	77.6%	77.8%
小売売上高(前年比)	▲6.2%	2.1%	2.4%	1.9%
自動車国内販売台数(千台)	2,050	2,240	2,566	2,788
失業率(年平均)	11.3%	12.8%	12.3%	11.9%
消費者物価上昇率(IPCA)(年平均)	8.7%	3.5%	3.7%	3.7%
(年末月・前年比)	6.3%	3.0%	3.8%	4.3%
卸売物価上昇率(年平均上昇率)	11.7%	▲0.5%	6.6%	7.3%
(年末月・前年比)	7.6%	▲2.5%	9.4%	9.1%
輸出(FOB)(億ドル)	1,852	2,177	2,393	2,254
(前年比)	▲3.0%	17.5%	9.9%	▲5.8%
輸入(FOB)(億ドル)	1,376	1,507	1,812	1,773
(前年比)	▲19.8%	9.6%	20.2%	▲2.1%
貿易収支(億ドル)	476	670	580	480
経常収支(億ドル)	▲242	▲150	▲415	▲509
直接投資ネット流入額(億ドル)	596	475	761	565
外貨準備高(億ドル)(年末)	3,539	3,588	3,614	3,393
ベースマネー(億リアル)(年末)	2,703	2,968	3,020	3,166
政策金利(Selic Target rate)(年末)	13.75%	7.00%	6.50%	4.50%
株価指数(ボベスパ指数)(年末)	60,227	76,402	87,887	115,645
対米ドル為替相場(年末)	3.2547	3.3171	3.8758	4.0227

2. 月次

	20年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
実質GDP成長率(前年比)	┌	▲0.3	┌	┌	▲11.4	┌	┌	-	┌
経済活動指数(季節調整済)	139.30	140.01	131.76	119.41	121.63	128.10	130.85	-	-
鉱工業生産指数(前年比)	▲0.9%	▲0.3%	▲3.7%	▲27.6%	▲21.8%	▲8.7%	▲3.1%	-	-
(季節調整済、前月比)	1.0%	0.9%	▲9.3%	▲19.5%	8.7%	9.7%	8.0%	-	-
設備稼働率(季節調整済)	78.3%	78.8%	76.1%	66.6%	70.5%	72.5%	75.4%	-	-
小売売上高(前年比)	1.4%	4.7%	▲1.1%	▲17.1%	▲6.4%	0.5%	5.5%	-	-
自動車国内販売台数(千台)	193	201	164	56	62	133	174	183	-
失業率	11.2%	11.6%	12.2%	12.6%	12.9%	13.3%	13.8%	-	-
消費者物価上昇率(IPCA)(前月比)	0.2%	0.3%	0.1%	▲0.3%	▲0.4%	0.3%	0.4%	0.2%	-
(前年比)	4.2%	4.0%	3.3%	2.4%	1.9%	2.1%	2.3%	2.4%	-
卸売物価上昇率(前月比)	0.5%	▲0.2%	1.8%	1.1%	▲10.0%	14.3%	3.0%	3.7%	-
(前年比)	9.9%	8.4%	8.5%	8.5%	▲2.8%	9.8%	12.6%	18.2%	-
輸出(FOB)(億ドル)	145	156	184	176	175	175	195	177	-
(前年比)	▲19.4%	▲1.0%	5.3%	▲8.7%	▲14.9%	▲4.9%	▲3.3%	▲9.8%	-
輸入(FOB)(億ドル)	162	133	145	116	134	104	115	111	-
(前年比)	▲1.3%	5.0%	10.5%	▲14.8%	▲10.5%	▲19.8%	▲35.2%	▲28.5%	-
貿易収支(億ドル)	▲17	23	38	60	41	71	80	66	-
経常収支(億ドル)	▲119	▲62	▲15	17	5	38	14	37	-
直接投資ネット流入(億ドル)	39	41	60	12	29	48	27	14	-
外貨準備高(億ドル)(月末)	3,424	3,460	3,230	3,193	3,246	3,272	3,341	3,369	-
ベースマネー(億リアル)(月末)	3,180	3,032	3,076	3,367	3,681	3,817	4,237	4,027	-
政策金利(Selic Target rate)(月末)	4.50%	4.25%	3.75%	3.75%	3.00%	2.25%	2.25%	2.00%	2.00%
株価指数(ボベスパ指数)(月末)	113,761	104,172	73,020	80,506	87,403	95,056	102,912	99,369	-
対米ドル為替相場(月末)	4.2733	4.5117	5.1866	5.4133	5.4311	5.4908	5.2058	5.4859	5.6365

(資料)ブラジル中銀、ブラジル地理統計院(IBGE)、世界銀行、Thomson Reuters Datastreamより国際通貨研究所作成

照会先：国際通貨研究所 森川 央 morikawa@iima.or.jp
川嶋 真奈 mana_kawashima@iima.or.jp

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の販売や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、すべてお客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。当資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当室はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。また、当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記してください。また、当資料全文は、弊行ホームページでもご覧いただけます。